**教材「災害状況を想像する力を身につけよう」**

**を使った防災授業の指導要領**

* 事前準備

＝＞座席は班形式での配置をお願いします。

＝＞ワークシート、記入例、説明用紙は必要に応じて生徒に配付してください。

　　**ワークシート１枚だけでも授業を行うことは可能です。**

* 全体構成
1. 説明：災害状況を想像する力の大切さ
* 災害はいつ、どこで起きるか分かりません。いざというときに冷静に行動できるように、普段からイメージトレーニングをすることが大切です。
* 災害後の状況をイメージトレーニングすることで、課題や不安なことを見つけ出し、災害前にどんな対策が必要かを考えることが目的です。
* 実際に事前に記入されている場合は、先生方が記入して感じたことも伝えてあげてください。
1. 記入の時間
* まず、氏名と設定を記入させます。設定は変えても構いません。
* 記入は個人で行わせ、最初は班の中でお互いに話し合わないようにします（話し合いは後ほど行うため）。
* 記入時間は『話し合い（１０分）と補足説明（３分）』程度を残した時間で終了します。

≪補足 ”ワークシートを書けない生徒" ≫

　ワークシートが書けない生徒は、面倒で書きたくない場合もありますが、真剣に考えすぎて（選択肢が増えすぎてしまうことで）書けなくなっている場合があります。もし、真っ白なままになってしまう生徒がいたら、適宜補助をしていただければと思います。

1. 話し合いの時間
* 説明書に沿って、班の中でお互いに見せ合って、話し合いをします。
* 「書けていない」人を責めたり、明らかにおかしなことを書いている生徒がいても、批判したりしないよう、指導してください。
* 気がついた点は「本当にそうなると思うか」「どうやったらそれが解決できるか」「どうしたら防げるか」という話をするよう、指導してください。
* 「死んでしまう」というような例があったら遺される家族や友人のことを考えるよう指導してください。
1. まとめの時間（伝えていただきたいこと）
* 何か問題が起きたら、どうすれば解決できるか考えることが対策につながること。
* 設定条件を変えて、繰り返し行うことが災害を想像する力を高めてくれること。
* 発災後について考えたら、発災前にできることも併せて考えて、普段の防災に活かしていくこと。→　消防署の講演や各種訓練、体験学習と併用すると効果的です。